



平成 27 年 8 月 10 日

各 位

札幌市白石区平和通 15 丁目北 1 番 21 号
会 社 名 株式会社 C E ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 杉本 恵昭
(コード番号：4320 東証一部、札幌)
問合せ先 常務取締役管理担当 松澤好隆
(TEL. 011-861-1600)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年11月10日付「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました平成27年9月期(平成26年10月1日～平成27年9月30日)通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,273	781	792	454	127円61銭
今回発表予想(B)	7,416	101	142	12	3円36銭
増減額(B-A)	△857	△680	△650	△442	—
増減率(%)	△10.4	△87.1	△82.1	△97.4	—
(ご参考)前期実績 (平成26年9月期)	7,516	723	765	445	125円07銭

2. 修正の理由

当社グループの主力事業である電子カルテシステム事業におきまして、地域医療再生基金の終了や、消費税率の引き上げ等から、医療機関のシステム投資が停滞傾向となる中、積極的な営業活動に取り組み受注を回復し、平成27年4月以降の収益に貢献することを見込んでおりましたが、受注の確定がずれ込むなど、平成27年4～6月期も低調に推移する結果となりました。

このような状況の中、利益面におきましては、受注獲得のための競争激化や顧客との将来を見据えた取引などから採算性の低い検収物件が多く、一部については、顧客との納品物に関する認識の相違などから、外注費や外部調達品の費用が増加し不採算となるものがありました。また、人員体制の強化や営業拠点の拡張など、固定費の増加もあり、本日発表の平成27年9月期第3四半期決算短信に記載のとおり、当第3四半期連結累計期間は、営業損失及び四半期純

損失となりました。また、平成 27 年 7～9 月においては、利益性の高い物件の取り込みと、不採算物件の影響もないことから利益計上できる見込みではありますが、通期においては、採算性の低下と固定費の増加が影響し、当初の利益予想を大幅に下回る見通しとなりました。つきましては、平成 27 年 9 月期の連結通期業績見通しを修正するものであります。

なお、足元では医療機関の医療情報システムに対する投資意欲に回復の兆しが見え始めており、今後も普及が期待される電子カルテシステム市場において、新たな販売提携先の開拓など販売面の強化と、製品の機能強化や他メーカーとのシステム連携など製品の付加価値向上による受注の増加と、生産性の向上による原価低減に取り組んでまいります。

また、平成 26 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)にて発表いたしました、期末配当予想について、修正はありません。

以上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる場合があります。